

第52号

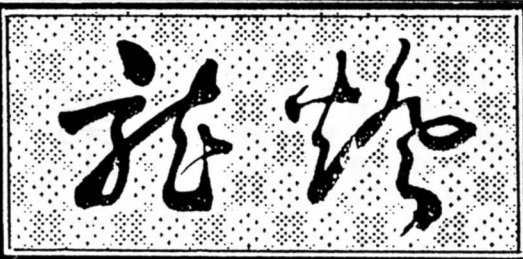
大阪市史跡 龍溪禪師墓所 雲屯山 九島院

発行所

〒550-0022 大阪市西区本田3丁目4番18号  
TEL 06(6583)2725 FAX 06(6583)0908

発行者

第二十五世住職 奥田啓知(智證)



お寺が栄えることは檀信徒の皆様喜びであり

# 相次ぐいじめ自殺

## 「信頼できる親子関係こそ大事」

福岡県筑前町の中2男子や北海道滝川市の小6女児の自殺など、いじめによる自殺事件が相次いでいます。

文部科学省の調査では、昨年度のいじめは全国で約2万件で減少傾向にあり、いじめが原因の自殺者は九十九年度からゼロが続いているとされていますが、実際にはいじめが自殺に関与したケースも相当あると言われています。

「いじめられるのは、その子に原因があるからだ」などと、心ない言葉を吐く人がいますが絶対に、そんなことはありません。いじめめる子が悪いのです。集団にストレスがたまっていると、集団の中の一部の者達は誰かをいじめたくなるのです。しかし、強い者をいじめめるわけにはいかないのです。彼らは弱い者をいじめはじめます。その集団の中で、一番弱い人が標的にされるのです。いじめられる人は、たまたまその集団の中でそんな立場にいた人なのです。いわゆる貧乏くじを引かされただけなのです。

いじめられたとしても、決して自分が播いた種ではありません。「播かぬ種は生えぬ」と仏教では教えています。自分が播いた種が全部生えてくるわけでもないのです。縁が熟さなければ、播いた種も生えてこないのです。

お釈迦さまも、「悪が熟さぬうちは、たとえ悪人でも幸福を享受できるが、悪が熟するや、悪人は禍(わざわ)いを経験する。善が熟さぬうちは、たとえ善人でも禍を経験するが、善が熟するや幸福を享受できる」(法句経)と言っておられるように、縁が熟するのは、現世に限りません。来世、あるいは再来世において、その報いを受けることもあるのです。

「因果応報」の法則と自分が播いた種は自分が刈り取らねばなりません。自分の業(行為)の責任を自分がとらされるのであり、他人の業の報いを自分が受けるわけでは決してありません。「播かぬ種は生えぬ」といえば、いいにしろ悪いにしろ、い

ま現在の結果は全部自分が播いた種なのだと解されますが、そうではないのです。種を播いたのが自分だけなら自分自身が刈り取らなければなりません。集団が播いた種なら、集団全体で受けなければならぬのです。いじめの問題が深刻化しているのは、勝組・負組といわれる格差社会で、競争・競争と子供たちを追い立てた結果なのです。偏差値万能の学校現場でドロップアウトし、未来に希望をもてない子供たちのいびつな集団の欲求不満が他者に対する陰湿ないじめとして現れたのです。その人に決して罪はありません。社会全体の責任なのです。ともあれ、いじめによる自殺は何としても止めなければなりません。誰にも言えない秘密も打ち明けられ、気を許せる教師友達、何よりも信頼できる親子関係の構築こそ大事なのです。



# 第十二回修養会ご報告

## 彦根大仏って何？

本年の修養会は、十一月三日文化の日、秋晴れの上天気のもと、築城四百年の前年祭りで賑わう彦根へ行ってきました。

国宝彦根城下、芹川の辺にある黄檗宗濟福寺・臨濟宗妙心寺派龍潭寺の禅寺二ヶ寺を拝塔しました。

昨年は副住職の仏前結婚式で休会にしましたので、参加者が減るか心配していましたが、キャンセル待ちがでるほど好評で、寺族をいれ総勢四十九人、正シート一杯の状態でした。

修養会も今回で十三年になります。参加者も年々高齢になり、新しい顔ぶれの参加が望まれていましたが、今回十名もの方々が新しく参加されました。



秘仏の彦根大仏

「ありきたりな観光スポットでなく珍しいところ、美味しい料理、それに黄檗宗寺院を訪ねる」というスタンスで続けてまいりましたが、今回は大仏シリーズ第三弾、濟福寺の彦根大仏を観光の目玉に旅してきました。

彦根大仏は、ほとんど知る人のいない秘仏で、当寺五代住職月舟和尚と十一代彦根藩井伊直中公が、時を同じくして「京都寺町の誓願寺の境内柳の木の根元、地藏菩薩の御頭が埋もれているから掘り出し礼拝せよ」との夢の御告げを授かり、京の仏師早川平次に命じて、掘り出した御頭に胴体をつけ、寄木造りの丈六（約六メートル）の延命地藏菩薩にしたものです。

見事な出来ばえに感心した直中公は、井伊家伝来の安産地藏菩薩を寄進され、これを胎内仏として、膝上の子宝地藏尊とあわせ、延命・子宝・安産の靈験あらたかなお地藏さまとして近隣の崇敬を集めています。参加者一同、子宝

とは縁のな  
い身ながら  
孫や子に子  
宝・安産を  
祈願しまし  
た。

屋食は彦  
根随一の料  
理旅館「や  
す井」大広  
間で、脇息  
でくつろぎ  
ながら、御  
馳走を頂き  
ました。さ  
すが老舗の  
旅館だけあ  
って調度も  
すばらしく  
一時を忘れ  
ました。来  
年からは、  
副住職夫婦  
が修養会を  
担当します  
新しい感覚  
できっと、  
楽しい会に  
にしてくれ  
ることだと  
存じます。



龍潭寺総門前で参加者の善男善女

2006/11/03

お寺が栄えることは檀信徒の皆様喜びであり

### 猫地藏の御堂寄進のお願い

猫地藏の御堂の寄進を募りますが、既報の猫地藏ですが、境内大楠の樹下で祀っていますが、露天で寒そうです。愛猫家の方、いかがですか、アルミ製の御堂で予算は十五万円です



# 無縁墓地改葬工事の報告

## 永代供養墓を建てます

当院では、平成十七年八月一日から無縁墳墓改葬手続きにはいりました。

「無縁改葬にあたり、死亡者の本籍および氏名ならびに墓地使用者等、死亡者の縁故者および無縁墳墓に関する権利を有する者に対し一年以内に申し出る旨を官報に掲載し、かつ無縁墳墓等の見やすい場所に設置された立札に一年間掲示しなければならぬ」とあります。

本年九月二十一日付で大阪市西区長（廣石嘉秀）から改葬許可がおり、秋彼岸を待って、十月七日に無縁墳墓の抜魂供養を副住職と済ませ、十月十日より無縁墓撤去工事に着手しました。

撤去した無縁墳墓五十六基の他に、返還された六基の計六十二基の墓碑を撤去しました。撤去した墓碑と無縁塚の墓碑四十一基の墓石のうち、

無縁塚に残す墓碑以外はすべて能勢妙見山中に移転のうえ同所で奉安することにしました。

廃墓の埋骨は収骨し、新規に設置する無縁塚に合祀をしてお寺が続くかぎり、慰霊していきます。

現在の無縁塚はカロート（土壇）が一杯のため、新設する必要があります。新規工事にあわせ、以前より要望のあった、永代供養墓を新設することとしました。

永代供養墓は「お墓の承継者がいない、子供にお墓で面倒をかけたくない、自分ひとりのお墓を、無縁にならず永代供養をしてほしい」など、お墓に対する悩みを解決するために建てるものです。

今度建てる永代供養墓は、青銅製の地藏菩薩座像を請来し、その基壇に納骨する形のもので、息災延命観音像と背中をあわせるように、基地側

「開山龍溪禪師の喜び、誰よりも御本尊の喜びです！」

に設置します。

無縁塚にあった六地藏は、水道小屋の隣の墓地入り口に移転し、同所にあった「亀の墓」は、その向かいの小池側に移転しました。

地藏菩薩座像は、目下、京都の仏像製作所で鑄造しており、座高三尺、総高五尺（約二メートル弱）のもので、来春の彼岸法要で入魂法要を予定しています。

### ○副住職就任

平成十八年七月二十五日付で、大本山萬福寺より新堂穂積和尚に、九島院副住職の辞令がおりました。

今後、なお一層の精進をのぞみます。

### ○責任役員について

九島院寺院規則第六条の規定には「五人の責任役員を置き、そのうち一人を代表役員とする。代表役員以外の責任役員は、宗制による法類教師又は檀信徒のうちから住職が選任する」とあり、十月六日の総代・責任役員会で次のように決定しました。

今後、当院の責任役員は先々代栄忠和尚時の先例に戻し「責任役員五名のうち、代表役員以外の責任役員に、副住

職（いない場合は宗制による法類教師」と寺族一名をいれ残り二名の責任役員を、一年五年限りで順次交代で、総代（世話人）より就任する」

総代（責任役員）の浜田文夫氏（病氣辞任」と戸谷良多郎氏（逝去）」の二氏欠員の協議をし、今後五年間の責任役員は、住職・副住職・坊守と総代（世話人）より梶山清三氏・木村仁志氏が選任されました。

年忌表（平成19年）

回忌	死亡年	回忌	死亡年
1周忌	平成18年	17周忌	平成 3年
3回忌	平成17年	25回忌	昭和58年
7回忌	平成13年	33回忌	昭和50年
13回忌	平成 7年	50回忌	昭和33年

土・日・祝日は他家と重なり、詳細はお問い合わせ下さい。

奉納抄

○鯛口紐新調 (本年九月廿四日)

大鳥昇一様より、亡きご両親の供養にと、奉納いただきました。厚く御礼申し上げます。

○金拾老万円喜捨 (本年十月廿二日)

近藤昭子さまよりのご喜捨があり門前の寺曆案内板の一部に使わせて頂きました。

編集後記

▼今年のプロ野球日本シリーズは日本ハムファイターズが前身の東映フライヤーズ時代以来、四十四年ぶりの日本一に輝きました。とりわけ、今季限りで引退する新庄剛志選手は最高の形でグラウンドを去ることになりました。▼出処進退はとても難しいものですがフィギアスケートの金メダリスト荒川選手と、一つの見本を示しました。

▼拙寺でも、新命和尚は副住職を拝命し、小生も九島院の舞台を下りる時期にかかってきました。▼懸案の境内墓地の無縁墓問題も、何とか解決すべく、目下墓地整備工事がすすんでいます。▼近未来の仏事情も考え、拙寺にも永代供養墓をつくることとしました。▼来春の彼岸法要で、地藏菩薩坐像を戴いた永代供養墓の開眼法要を予定しています。出処進退を現成公案として新年を迎えようと考えています。墓地維持費のご納付をお願いします。墓参の折り、郵便振り込みでも結構です

●雪隠修行

月参りで、楽しみにしている「うどん屋」があります。いつものように、「ぶっかけうどん」を食べ幸せな気持ちで帰路につこうとしましたが、小用をたすべくトイレに入ったところ、あまりの汚さと悪臭が鼻につき、いつまでたっても吐き気に満ちた始末です。禅語の「花を弄すれば香衣に満ち」とは正反対の世界で、後悔このうえもなし。我慢すればよかったと悔やみました。

禅宗では、トイレのことを「雪隠(せっちん)」「東司(とうす)」などと言い、トイレを七堂伽藍に加えています。東福寺の東司は国宝に指定されています。

中国、宋の時代に雪竇(せつとう)禅師が杭州の靈隠寺で修行していましたが、いつも便所掃除に励んでいました。人の嫌がる便所掃除を、人の見えない時こっそりしていましたが、いつしか人の知れるところとなり、「雪竇がいなければ便所を探せ、便所は雪竇の隠れ場だ」といわれたところから、便所のことを「雪隠(せっちん)」というようになったそうです。

雪竇和尚のように、人の嫌がる仕事を、人知れずこっそり行うことを「陰徳を積む」といいます。陰徳の陰はかげ、徳は功德の徳のことで、「陰徳あれば陽報あり」で便所は陰徳を積む最良の場なのです。健康雑誌「ゆほびか」で、「便所掃除が運気を呼ぶ」と特集したところ、宝くじが当たった、結婚できた、赤ちゃんができた、など体験談が多数寄せられたそうです。ビートたけしさん、星野仙一さんらも実践しているとのことでした。

俗に「便所をきれいにするお店は繁盛する」と言われます。便所掃除に励んで「陰徳」を積み、さらにお店まで繁盛すれば、これ以上のことはありません。



お知らせ

◎のぼり奉納の募集 1旗金2千円

「南無観世音菩薩のぼり」を入れ替えます。1年間境内に掲げます。恒例のお施主さんを募集いたします。為書きと施主名を墨書します。ご希望の方は事務所まで、お声をかけてください。

「開山龍溪禅師の喜び、誰よりも御本尊の喜びです！」